

## 講演者プロフィール

### 遠藤 久夫（えんどう ひさお）氏

学習院大学経済学部教授

中央社会保険医療協議会会長、医療経済学会理事、京都大学大学院医学研究科非常勤講師

1954 年生まれ。一橋大学大学院博士課程単位取得退学、民間研究所等を経て 1997 年より現職。公職としては、「社会保障審議会（後期高齢者医療の在り方に関する特別部会）」委員（2006～07）、「独立行政法人評価委員会（医療・福祉部会）」部会長代理（2005～07）、「介護事業運営の適正化に関する有識者会議」座長（2007）、「看護基礎教育の充実に関する検討会」座長（2006～07）、「医療施設体系の在り方に関する検討会」座長代理（2006～07）、「C型肝炎対策等に関する専門家会議」委員（2005）等を歴任。著書に『社会保障と経済 3』『社会保障制度改革』（共著：東京大学出版会）、『医療経済学の基礎理論と論点』『医療保険・診療報酬制度』（共編著：勁草書房）等がある。専門は医療経済学。

### 中島 美津子（なかしま みつこ）氏

東京病院 副院長

夫の転勤により各地の病院で看護師として勤務。平成 15 年より九州大学医学部保健学科、聖マリア学院大学看護学部などの教育・研究職を経て、東京警察病院看護部長、本年 5 月より現職となる。学位；博士（看護学）。研究テーマは「働きがいのある組織づくり」であり、7 年前からワークライフバランスに関するテーマに取り組み、複数県のワークライフバランスに関する事業アドバイザーや魅力ある病院づくり事業のアドバイザー等を通し、働き方に対する認識のパラダイムシフトを図る啓発活動に全国的に講演活動を展開。日本看護協会において WLBNI（WLB INDEX 医療版 Ver. 2）開発・検討会委員や看護職の多様な勤務形態による就業促進事業、地域へのワーク・ライフ・バランス普及推進プロジェクトの委員も務める。

「すべては幸せにつながっている」「ケア提供者が幸せであることは質の高いケア提供を可能にする」という信念の下、看護部長と二人三脚で日々仕事を楽しんでいる超 positive 思考回路の発達した二児の母。

### 荒木 葉子（あらかし ようこ）氏

荒木労働衛生コンサルタント事務所 所長

1982 年 3 月 慶應義塾大学医学部卒業  
1982 年 4 月 慶應義塾大学医学部内科学教室入局  
1992 年 1 月 カリフォルニア大学サンフランシスコ校 留学  
1994 年 2 月 報知新聞社東京本社 産業医  
2002 年 4 月 N T T 東日本首都圏健康管理センタ 東京健康管理センタ 所長  
慶應義塾大学 医学部内科学 客員講師  
2006 年 4 月 荒木労働衛生コンサルタント事務所 所長  
2008 年 9 月 東京医科歯科大学女性研究者支援室 特任教授 兼務